

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	統合分野	科目名	臨床看護技術演習			
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	専任教員	
学習目標	1. 複合的な援助を要する患者への援助ができる 2. 多重課題に対する優先度の考え方を理解する					
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態	
	1	臨床実践能力			講義	
	2	看護師の役割 1) リーダーシップ・メンバーシップ 2) リーダー看護師、メンバーの看護師の役割 3) 夜間の看護師			講義	
	3	複数受け持ち患者の看護実践① ・1日の業務組み立て			講義 個人ワーク グループワーク	
	4	複数受け持ち患者の看護実践② 複数患者の観察と確認-1 行動計画の実施			グループワーク	
	5・6	複数患者の観察と確認③④ ・複数患者の観察と確認の実際-2、3			演習 シミュレーション	
	7	緊急入院患者の看護（紙上事例） ・入院患者の情報をとる ・行動計画の変更			講義 個人ワーク グループワーク 講義	
	8	複数・複合事例の看護の実践① 1) 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダー・メンバー看護師間の指示伝達及び連絡・報告・相談を踏まえた行動計画 2) 対象の状況に応じた看護実践のための行動計画			グループワーク	
	9	複数・複合事例の看護の実践② 1) 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダー・メンバー看護師間の指示伝達及び連絡・報告・相談を踏まえた行動計画実施へ向けての準備			演習	
	10・11	複数・複合事例の看護③④ 1) 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダーへの相談を踏まえた日常生活の援助及び診療の補助技術の実施			演習	
	12・13	突発時の対応①② 1) 観察とアセスメント 2) 初期対応 3) リーダー看護師に報告 4) リーダー看護師、メンバー看護師の役割			演習	
	14	1) 多重課題、複合課題、ケアの優先順位 ・多重課題の優先順位・主治医、当直医への報告・急変時への家族への連絡 2) OSCE（客観的臨床能力試験）について			グループワーク	
	15	筆記試験 OSCE				
	評価方法	筆記試験・レポート				
	テキスト	看護実践マネジメント・医療安全 《メヂカルフレンド社》				
参考文献						

自己学習時間	15時間	事前・ 事後学習	演習・OSCEに向けての自己学習、看護技術の自己練習
--------	------	-------------	----------------------------